

課題名

「改訂モデル・コアカリキュラム対応実務実習の先行導入に向けた取り組みとその評価」について

○ 研究の意義・目的

薬学教育のモデル・コアカリキュラムが改訂され、その実務実習は 2019 年度より運用開始されます。改訂モデル・コアカリキュラムの特徴として、代表的な 8 疾患、「がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症」について、実習期間中にその疾患にある患者を体験し、継続的な薬物療法の実践を行うことが推奨されております。限られた実習期間で、学習改訂モデル・コアカリキュラムに則した実務実習を提供する教育体制の在り方を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究方法

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 1 月 27 日までに、広島大学病院薬剤部で実務実習を実施した薬学生を対象とします。本研究は全て実務実習における記録を転記して行います。実務実習における記録から使用する内容は、8 疾患学修状況、ループリック評価、長期実務実習終了時アンケートです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）（研究期間 承認後～ 2020 年 3 月 31 日）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 大東敏和（担当者）